

医学部

Faculty of Medicine

幅広く、深い教養と倫理観、豊かな人間性を身につける。
どんな人とも話ができるコミュニケーション能力を養う。
苦しんでいる人の立場になって考え、問題点を見つけ出す。
最新の医療知識と技術を、生涯を通して勉強する。
生命の不思議、疾患や治療法の研究をする。
医療チームの一員である医学・看護学のプロフェッショナルとして
地域社会だけでなく、国際的な視野に立って活動する。



医学部では

基本理念を「確固たる使命感と倫理観を持って医療に臨み、豊かな創造力と研究能力を培い、人類の健康と福祉の向上に努めることのできる広い視野を持つ医療人を育成する」としています。

医学科

このような人を育てます。

医学科では、臨床医学、医学・生物学研究、あるいは公衆衛生の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち、コミュニケーション能力に優れ、幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力、自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力、あるいは地域および国際社会における健康の増進、疾病の予防に寄与し、人類の保健、繁栄に貢献できる能力、を養います。

このような人を求めます。

- 人間性に優れた人。
- 困難に立ち向かう力強さを備えた人。
- 人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献する人。

専門的な知識と技術、そして優しさを 持ったプロフェッショナルに。

看護学科

このような人を育てます。

看護学科では、人間の誕生から死に至るまでの、様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart（こころ）・Head（専門知識）・Hand（専門技術）を伸ばす教育を通して、広く保健・医療に携わる看護専門職者を育成します。そして、倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

このような人を求めます。

- 人の健康に関心が強く、看護の分野で社会に貢献する意志をもつ人。
- 探究心と自立心をもって、課題に積極的に取り組める人。
- 相手の立場を理解し、柔軟にものごとを考え、表現できる人。
- 国際的な視野をもち、地域医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

取得可能な免許・資格

受験可能な国家資格

医学科：医師国家試験

看護学科：看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験（助産課程専攻者）

取得可能な免許

看護学科：養護教諭二種





4年間で知った 男性看護師の 必要性

医学部
看護学科 4年
三重県出身

◆自分だからできること

僕が三重大を志望した理由は、地元であるということと、総合大学であるということです。実際に、同じバスケット部の友人から他学部の実験や講義の話聞くことは、良い刺激になりました。また、学科の先生たちも看護師や保健師の方たちなので、体験談はとても勉強になります。勉強以外のことも気軽に話せるので、大学の先生がこんなに話しやすいとは、高校生の頃は思ってもみませんでした。

まだまだ看護学科の男子学生は少なく、僕たちの学年は5人です。入学当初は戸惑うこともありましたが、4年間の間に、男性看護師の必要性を感じ

ることが多々ありました。例えば、実習で担当させていただいた男性の患者様に「男子学生で良かった」と言われたこともあります。同じ男性としてできることがたくさんあるはずなので、みなさんにも先入観を持たずに看護師を目指してもらいたいです。

◆命の重さを実感した実習

看護学科では、1年生の時に初めての実習を経験します。その時は、ひとりの看護師さんに付き、現場の様子や業務の流れを知ります。僕の場合、実習1日目には元気だった患者様が、2日目に亡くなるという体験をし、命の重さを改めて実感しました。3年生に

なると半年間の実習で多くの病棟や福祉施設に行き、4年生ではほとんどの時間を実習と卒論に費やします。僕は「地域看護学」を研究し、実際に中学校で運動頻度と疲れについてアンケートを取り、中学生の体力低下と健康について卒論を書きました。

実習では人と接する時間が長く、相手をちゃんと見るように意識が変わりました。患者様は同じ疾患であっても、病状や性格に個人差があります。看護師は、医療スタッフの中でも患者様に接する機会も時間も多いため、患者様自身をしっかりと見て、僕が担当で良かったと患者様に思ってもらえるような看護師になりたいと思います。

実習

医学科および看護学科では、通常の講義・演習以外にたくさんの実習を行い、医療や保健の現場でこれまでの学習成果を深めます。

また、これらは医療への取り組み方、医師・看護師観、患者やその家族との関係、チームワークなど生きた医療を学ぶ機会です。そして「医師になる」「看護師になる」ことを再認識し、さらなる勉強へのモチベーションを高める機会でもあります。

患者体験実習 (医学科)

外来患者様に付き添うことで、医療の実態を患者の視点から見て、良い医療とは何かを考えます。

医療と社会 (医学科)

入学当初から継続的に地域や病院での医療に触れて、医の原点について考え、コミュニケーションの仕方、医療と社会の関わり、患者と家族の関わり、医師としてのあり方 (professionalism) について学びます。

看護学科

基礎看護学実習Ⅰ (第1学年)、基礎看護学実習Ⅱ (第2学年) を経て、第3学年後期から領域別の臨地実習を行います。第4学年になると地域看護学実習、在宅看護実習や各自が選んだ専門領域での選択実習があり、さらに専門性を深めた看護を学びます。

患者様に信頼される 家族のような医師を 目指して

医学部
医学科 4年
大阪府出身



◆医師として必要な力を培う

医学部では、2年生の後期にプレチュートリアルというカリキュラムがあります。ここでは、3年生の後期から始まるPBLチュートリアルに必要な基礎医学の知識を、徹底的に身につけます。その内容は実にハードで、3週間毎に講義とテストが実施されます。この詰め込み期間は大変ですが、実際にチュートリアルが始まると臨床面の学習が多くなるので、基礎知識が頭に入っていないと勉強についていくことができません。復習期間としてのプレチュートリアルがあるからこそ、PBLチュートリアルが活きてくるのだと思います。

PBLチュートリアルでは、毎月与え

られるテーマについて班で話し合い、調べ、能動的に学習を進めます。元々、人前で話をするのは苦手だったのですが、チュートリアルのおかげで、自分の意見を伝えられるようになり、医師として必要な力を少しずつ身につけていると実感しています。

◆患者様からのメールが励みに

課外活動では、「ブラック・ジャックによろしく」というサークルに入り、学年の枠を超えて勉強しています。ボランティアで「ALS (筋萎縮性側索硬化症) の患者の会」に参加した際は、患者様の送迎のお手伝いや、朗読テープを読ませてもらったりしました。まず、自分で

きることから始めようと思って参加したのですが、そこで直接、患者様やご家族にお話を伺うことができたのはありがたく、ケアや医師としての心構えについて考える良い機会となりました。さらに、そこで出会った患者様とのメールのやりとりは、とても楽しく、大きな励みとなりました。

三重大学の医学部は、先生方や先輩もみんな患者様思いで、志が高くアツイ人たちがばかりです。私も近い将来、患者様やご家族に信頼され、家族のように感じることができる医師を目指したいと思います。

医学部 附属病院

隣接する附属病院は最高の医療を提供する診療の場であると同時に、医学科と看護学科の学生が生きた医療を学ぶ臨床実習の場でもあり、先端医学・医療の研究開発の場でもあります。病床数は731床、1日当たりの入院患者数は約577人、外来患者数は約1,146人で、三重県内で最大規模を誇り、それぞれの診療科が互いに連携し、最高の先進医療を提供すべく活動しています。また、県内唯一の高度三次救急医療機関として、三重県全体の難しい救急医療患者を治療しています。また、医療サービスの多様性に応じて、高度先進医療を中心とした大学病院にとどまらず、三重県内を中心に、地域の基幹病院から診療所・介護施設にいたるまで、たくさんの実習協力施設が経験豊富な指導陣とともに整備され、社会のニーズに応じた、さまざまなプロフェッショナルの養成が行われています。

先端医療の一部

- 東海地方唯一を誇る生体肝移植
- 脳・心臓・大動脈疾患や腫瘍を切らずに治す血管内治療
- 腹腔鏡下手術
- ガンの免疫療法
- 四肢血管の細胞再生医療など

医 学 科

	知識 ←	→ 技能・態度
1年次	医学概論 分子生命科学 共通教育 医学英語	医療と社会 患者体験実習
2年次	生体の構造と機能 生体防御の分子基盤	研究室研修
3年次	社会と医学	EBM・医療倫理
4年次	PBL-チュートリアル教育	臨床実習準備教育
5年次	共用試験CBT	共用試験OSCE (客観的臨床能力試験)
6年次	臨床実習 (Clinical Clerkship)	臨床実習 (Clinical Clerkship 選択科)
	卒業試験	医師国家試験

PBL-チュートリアル教育とは

医学は日々進歩し、生涯勉強し続け新しい知識を取り入れていく必要があります。そのための自学自習の習慣と能力を身につけるためのカリキュラムがチュートリアルです。3年次後期から4年次終了までの1年半、週2回のチュートリアルの時間が設定されます。7人ほどのグループにチューターが1人ずつ付き、与えられた臨床症例に関する基礎医学や臨床医学の学習到達目標が提示されます。受け身となる講義は少なくなり、1日1回行われます。チューターは学習方法の指導はしますが、医学知識を与えることはしないので、各自が調べ、学習し討論を行い学習をすすめていきます。



共用試験とは

本学では、4年生末に、5年生以降の臨床実習に十分な、医学知識・問題解決能力、学習能力、コミュニケーション能力、基本的臨床技能が修得されているか、総合的に進級判定を行います。その評価には、それまでの試験やチューターの評価、実習の出席のほか、全国共用試験実施機構によるComputer based Testing (CBT) と客観的臨床能力試験 (OSCE) の結果も利用します。この共用試験は、全国共用試験実施機構の定める規程に基づき、本学において実施され、三重大の大学参加料のほかに、各学生の負担となる受験料が必要です。

看 護 学 科

1年次	共通教育	専門教育	基礎看護学実習Ⅰ		
2年次			基礎看護学実習Ⅱ		
3年次	領域別実習		看護学ゼミナールⅠ		
4年次	看護学ゼミナールⅡ		選択実習	看護研究	



医学部
地域医療学講座

武田 裕子 教授

Profile

地域というコンテキストのなかで医学教育をテーマに取り組んでいます。地域医療のあり方を研究しつつ、三重県の地域医療を担う医師の養成と継続的な支援を地域と大学との連携により推進できればと考えています。

受験生の皆さんへ

医学部を目指している皆さんにとって、入学試験に合格することは現在の最大の目標となっていることでしょうか。全力を尽くして頑張ってください！キャンパスで会えるのを楽しみにしています。「アンパンマンのマーチ」に次のような一節があるのをご存知ですか。

なんのために生まれて なにをして生きるのか
こたえられないなんて そんなのはいばだ！
なにが自分のしあわせ なにをしてよこぶ
わからないままおわる そんなのはいばだ！

私から皆さんへのメッセージは、「三重大医学部で学ぶ間に何度もこの「こたえ」を探すことになり、そして卒業してからもずっと「なにが自分のしあわせ」か、しっかりと感じられる道を歩める」ということです。

私の歩んでいる 医師としての道

私は、小学生の頃にシュバイツァーの伝記を読んで医師を目指すようにな

りました。1980年に筑波大学に入り、医学部在学中は基礎医学の研究に魅かれて、授業が終わると薬理学の研究室に通って与えられたテーマに取り組みました。最終的には臨床医になる道を選びましたが、研究者としての基礎を築きたいと医学部卒業後すぐに臨床系の大学院に進み、肺の病気の研究をしました。

大学院を修了して博士号を取得した後、ハーバード大学の教育病院であるベイスラエル病院で医師としての研修を開始しました。患者さんの問題を身近に聞いて一緒に考える医師になりたかったので、一般内科(プライマリ・ケア)の研修を受けました。帰国してからは、内科医として患者診療にあたりつつ、米国の医学教育システムのよい点を導入して医学生・研修医教育に携わりました。2000年4月に琉球大学に地域医療部講師として赴任し、自分の学んだプライマリ・ケアの楽しさや重要性を学生・研修医に伝えるための教育プログラムを開発しました。

2005年10月から東京大学医学教育国際協力研究センターの助教授となり、医学教育の研究と国際協力に携わ

りました。30年以上戦争状態の続いたアフガニスタンのカブール医科大学を支援する医学教育プロジェクトです。沖縄の地域医療、特に離島医療について考えた経験は、資源の限られたアフガニスタンでの仕事にたいへん役に立ちました。

2007年3月に三重県の寄付講座として三重大医学部に地域医療学講座が開設され、その教授に任命されました。三重県の地域医療に何が求められているのかを学び始めたところです。

「なんのために生まれてなにをして生きるのか」、いつも自分の進むべき道、やりたいことにまっすぐに取り組んでいけば、きっと道は開けます。時には転んだり、回り道をしているように感じることもあると思いますが、一つ一つの歩みが決して無駄になることはありません。自分が向かい合っていることに集中して努力を惜しまないあなた、三重大医学部はあなたを待っています。

忘れないで夢を こぼさないで涙
だから君はとふんだ どこまでも